

©É çÓè" Äåµ- lo ? Ä ?

©É çÓè"ÄÄåµ- qxz æ EPw0
 ›§Q" É^ ç-0É£›İRb"Äåµİ
 wæPpb{æPw€ùæüt ©É çÓè
 "Ä- qMOÚú)» ÖtoyÖ`z ÓA-€
 ù^•"lqT'z fwÉ¶qsloM‡b{
 z wæ EPtSMoxz fw-0Éw„qær
 UÉ çÓè"ÄÄåµİR^•oM‡b{•Ih
 "q`h çMæİİ-srzGVsEí ›§Qo
 M"wUz É çÓè"ÄÄåµİb{
 ÚázÔŠ`pçz z w[TSÉí›İR
 b" EPUÓtb"t`hUloz É çÓè"ÄÄ
 åµçf'tÓt`mmK "‡b{É çÓè"ÄÄ
 åµtxz æ EPP™ wùg=>\$"qMihÝ
 æçÄçK"‡b{



©Äåµ- lo ? ?

©Äåµ- qxz ~- ›o•q'oÉ‡•hİ
 Üw\qpb{~- tÉ%lqpsæ
 Pt TT"YOUÜ„^•z İåİµ'Xü
 "üMz İ w† ›\$"lqUpV‡b{
 \w~- İ xz ^‡_‡sq\~pÆ;
 ^•oMoz @"O•»è"z !•w'£ç Ä-
 µ»"sr w É^t<›;^•oM‡b{^t
 Üsq\~pxz Asrt;M' •"ˆØ"çt<
 ÄåµU>;^•z @0XoİÉ- qMOİ ›İq'
 oM‡b{
 fw'Os›Ö›mÄåµxz æ EPw0 •š
 ›§Q"İ t&'oMoz z ›xaŠqb":
 Xwæ EPP>;^•oM‡b{



Ü :w Ýw#IU_•" ÜÉ çÓè"Ät' "æP›Ó A-€Ü{
 É çÓè"Ä{

É çÓè"ÄÄåµw›Ö

Ö G V s í İ R U D ó
 É çÓè"ÄÄåµxzšp0 ›§Q"HRwæ P™ q
 xÝs"z,Š\$ŧŽ* wÉ:ŠÉpf-^•‡b{Pú°
 æw^•ŠzYO›§Q" ›ÆAq`zGVsÍ -UD
 óqs"‡b{

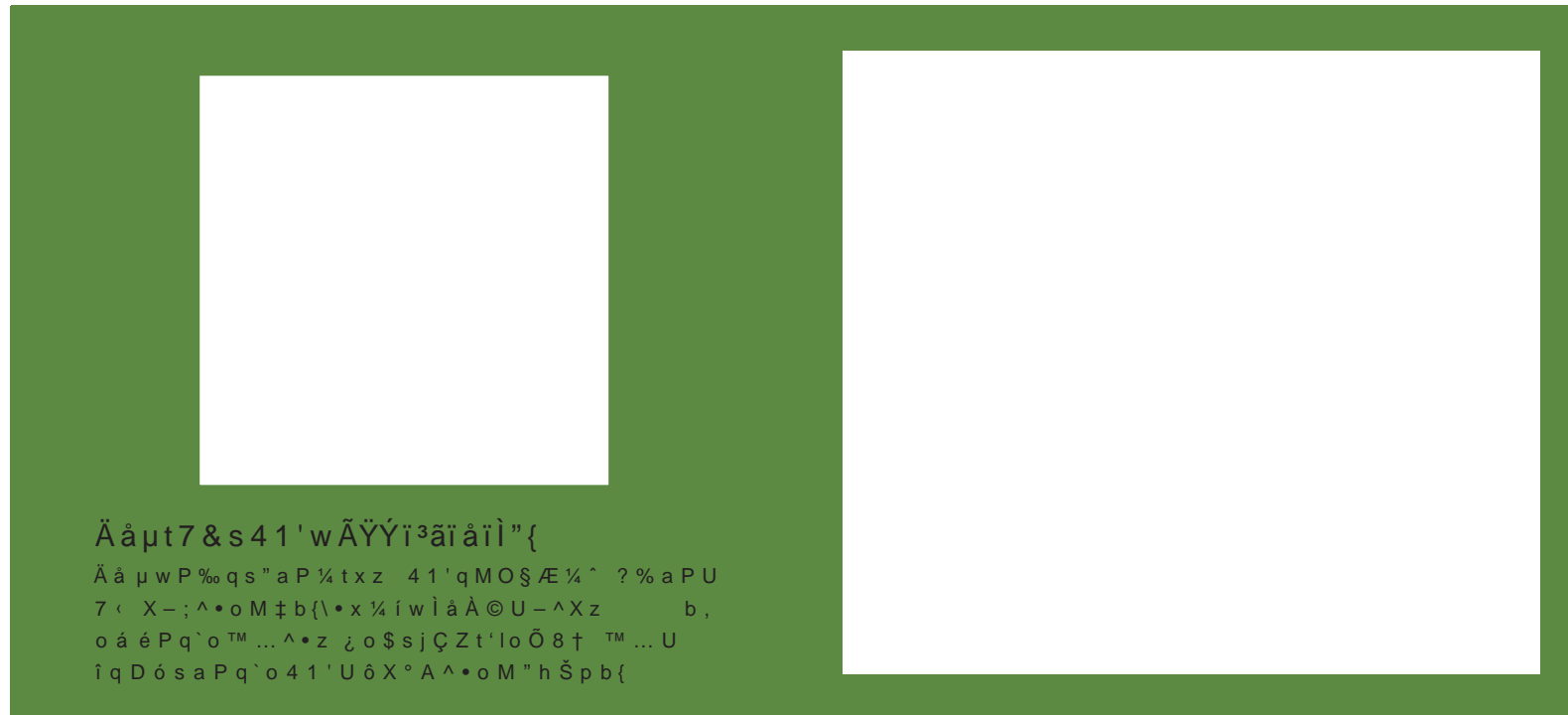
Ö † `h İ § S Q ó
 É çÓè"ÄÄåµxz.]qtİ -%•^z†¶UUÄ
 ^•‡b{HRwæ•&gUO1^•hP™ pxK"‡dœ{

Ö x t ^ S w ô M æ P ›™ ...
 É çÓè"ÄÄåµxz b, o» Öp\^•hŠz •h
 ^Swô%íwæPUxt™...^•‡b{óvsMİ<» Öpæ
 ~•"hŠzP™ qÖpwa» »8›GİtyV`‡b{fwh
 Šzy™wİ á.Uİt•"æµ«çOn^•‡b{

Ö 0 " w - 0 É › İ q
 É çÓè"ÄÄåµzİ ŠtZ7-...ÖpİR^•‡b
 wpz0M-0É›İq`‡b{\w\qx1 Q²İtçGV
 X/) `‡b{

ç P™ q Ö p
 w-0É›8
 ›GİtyV
 pV‡b{

Ü›Ö\^t"z x
 t ¼ İ w † `hÄ
 åµ›™...pV‡b{



Äåµt7&s41'wÄÿÿİ³ääİİ" {
 ÄåµwP%qs" aP¼txz 41'qMOŠÆ¼^ ?% aPU
 7< X-;^•oM‡b{•x¼İwİÄÄ@U-^Xz b,
 oáéPq`o™...^•z çoSsjÇZt'loÖ8†™...U
 İqDósaPq`o41'UöX^A^•oM" hŠpb{

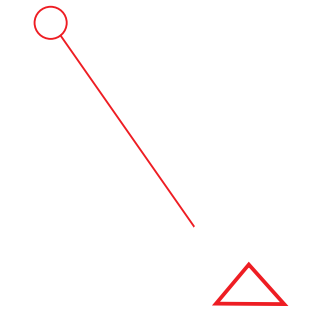


Ö Š æ İ Ä å µ ^ q
 ç+85\$•+BQBO 8PPE 5SVTT \$PVODJME
 ß [Ä]öçéý
 ç Ö æ İ İ Ä ç « °
 5&- "g

x" Ü Ö " X X X K X U D P

İwİ İ Nèç Ät SZ" İ æüw†İtmV‡oxz KX‡p° ŠsÄçtmMo\,
 oK‡b{ İMwúEtSMox MMvUC"ÖüçK"‡bwpz P™-İ wÉÝ,
 b"m•İİŠXİ^M{
 İwİ İ Nèç Ät)á^•oM"ØCw°-txz Y-›8bhŠw«™U=™oM‡bUz
 ÖŠæİÄåµ ^qtİfwgÄz f; z Eg xz Šİ İ Nèç ÄwMTs"jŠz = K
 "M xİ •t ,nXf-sM"ÄİwÆNüt0'oz MTs"yÜçÜOç wpXK‡dœ{
 İY`MA{Qó)-hbhŠwÉ çÓè"ÄÄåµxz »Ö\^•z™...^•İ æPp
 b{ ÖŠæİÄåµ ^qwg»pK" Äåµa Ä •SöMü"dxİ^M{
 Þø™ ŠÆ¼"ÄÜçq

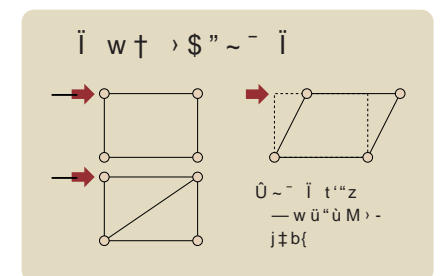
E ‡ M › " [T t w & t z
 f`o
 ¥ t ` X {



Ü . @ s r t ç Ä å
 µ İ U > ; ^ • o
 M ‡ b {



Ü ^ Ø " ç w ... Ø t
 (~ İ U _ ')
 • ‡ b {



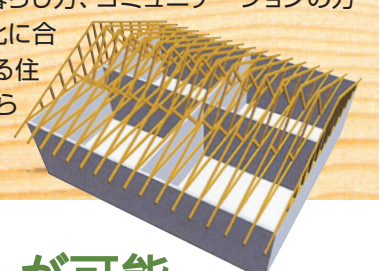
間取り、スペース自由自在!—ネイルプレートトラスがつくるフレキシブルな住空間。

家は、多くの人にとって「一生に一度の大きな買い物」です。これまで日本の住宅の寿命は、英国の141年、米国の96年、フランスの86年に対して、30年と極端に短かったのですが(最近の国土交通省の調査による)、近年は耐久性の高い木材の使用や外装材の技術の進歩などにより、住宅の寿命は格段に延び

てきています。50年、100年という長期にわたり活用される家は、住まう人のライフスタイルも、あるいは住まう人自身も変わっていきます。そこで、現在はそれらの変化に対応できるフレキシブルな住宅が求められています。

住宅の寿命が延びるにしたがって、住まう人の家族構成も確実に変化します。例えば、子ども二人が小さいときには「共通の子ども部屋」、大きくなれば「それぞれ独立した個室」、独立して家を出れば「大きな空間をつくる」「趣味のスペースを設ける」など、間取りの変更ができることによって生み出される可能性

は無限大です。家族の人数、暮らし方、コミュニケーションの方法など、ライフステージの変化に合わせた間取り構成に対応できる住宅が、これからの時代に求められている住宅といえます。



フレキシブルな住空間を生み出すトラス構造の住まい。

■間取りの変更に対応できる、構造躯体

住宅内部の間取りを変更可能にするということは、部屋と部屋間の仕切り壁(間仕切り)が変更可能でなければなりません。そのため、屋根部分の荷重を支えていない内部の仕切り壁が必要です。つまり、屋根部分の荷重をすべて外壁で支持することができれば、あたかもパーティションのように動かすことが可能な仕切り壁をつくり出せることになります。

■ネイルプレートトラスによる小屋組なら可能

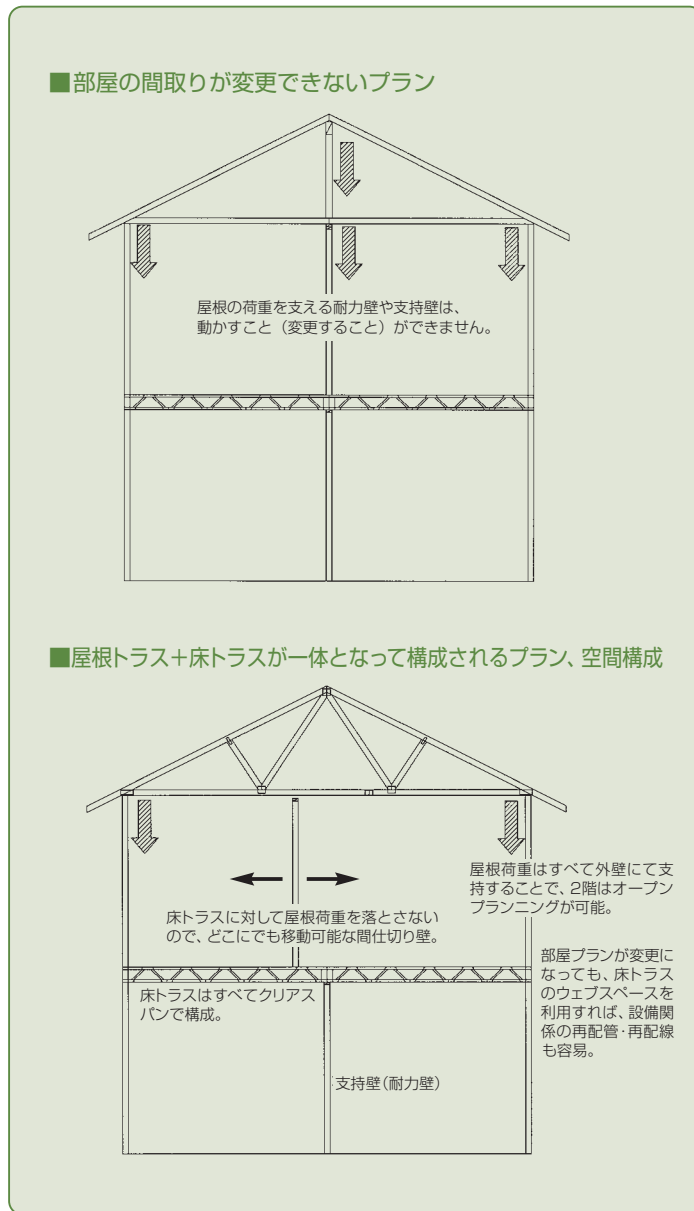
屋根部分の荷重をすべて外壁で支持するという事は、両端二点の支持で小屋組を構成する必要があります。小屋組を構成する部材には大きなスパンが求められます。それを解決するのがネイルプレートトラスによる小屋組です。その結果、2階建て住宅の2階部分及び平屋建て住宅に、変更可能な仕切り壁をつくり出すことができるのです。2×4工法(枠組壁工法)においては60㎡(約36畳)までの空間をつくり出すことが可能です。この大きな空間に間仕切りを活用し、自在に部屋構成をすることが可能になります。ネイルプレートトラスは、従来、主に2×4工法の住宅で採用されてきましたが、近年は在来工法をはじめとする、あらゆる木造住宅で採用されています。

■床トラスの採用で、設備関係の再配管・再配線も簡単

ネイルプレートトラスで小屋組を構成するのに加え、2階建て住宅の2階床に床トラスを採用すると、さらに住空間の変更が容易になります。部屋の間取りなどが変更になっても、トラスのウェブスペースを活用することで、ガスや水まわり、電気や電話、インターネット用ケーブルなど、設備関係の再配管・再配線工事がスムーズに行えます。



▲設備の変更が容易に行える、床トラス。



ライフステージに合わせて、使い勝手よくリフォームが可能。

仕事部屋をつくる

自宅で仕事を始めるため、仕事部屋を設ける。(SOHOスタイル)

〈プランの事例〉

- 子どものために、新しく子ども部屋を設ける。
- 親と同居するため、親の部屋を設ける。

子ども部屋をつくる

仕事部屋を分割し、新たに子ども部屋を設ける。

〈プランの事例〉

- 子ども二人が大きくなったため、子ども部屋を分割しそれぞれの個室を設ける。
- 仕事部屋を分割し、親の部屋を設ける。

開放感のあるリビングをつくる

仕切り壁をなくし、広いリビングとして使用。

〈プランの事例〉

- 子どもが独立したので、仕切り壁をなくし大きな一部屋として使用。
- 採光・通風に優れた開放感のあるリビングにリフォーム。

趣味の部屋をつくる

趣味を楽しむための部屋(書斎)を設ける。

〈プランの事例〉

- 親と同居するため、子ども部屋(2部屋)のほかに親の部屋を設ける。
- 自宅で仕事を始めるため、子ども部屋のほかに仕事部屋を設ける。